

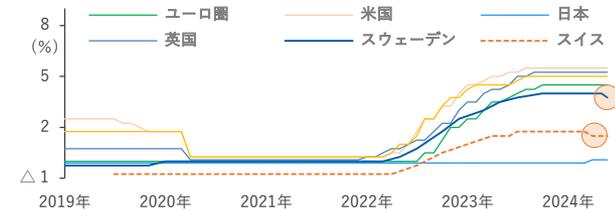
りそな経済フラッシュ

(海外中銀の利下げ後も弱い日本円)

 2024年 5月 23日
 りそなHD 市場企画部
 担当：荻谷

1 スイスとスウェーデンが利下げ

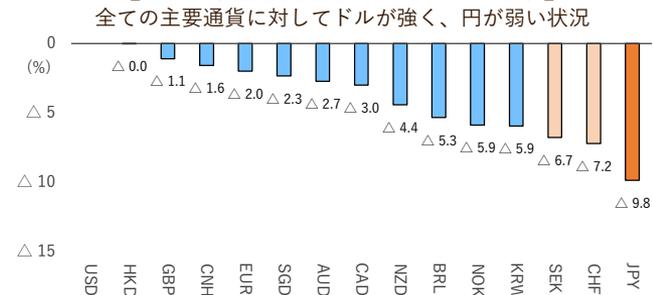
スイスとスウェーデンが利下げに着手した。欧米をはじめ主要中銀が、高インフレへ対応するため、政策金利を高水準で維持する中、スイスとスウェーデンは、それぞれ3月と5月に0.25%の利下げを先駆けて実施（右図参照）。

【主要国の政策金利】


2 フラン・クローネより弱い円

年初来の主要通貨の騰落率では、米ドルが最も買われている一方、利下げしたスイスフランとスウェーデンクローネはともに売られている。ただし、それ以上に日本円が売られてしまっている。（右図参照）

両国の利下げによる日本との金利差の縮小を受け、対円でも通貨安が進んだものの、それ以上にドルを中心とした全般的な通貨に対する円安が強かったためであると考えられる。

【2024年主要通貨の対ドル騰落率】


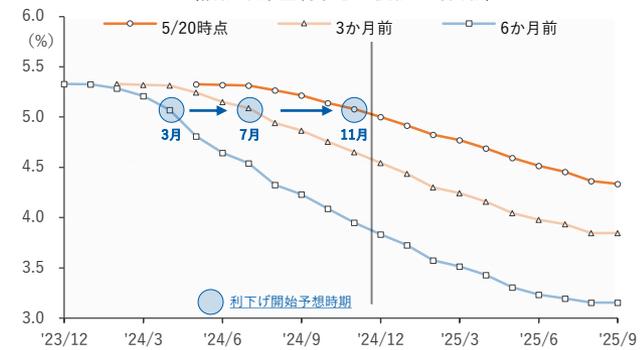
3 円の最弱通貨の地位は変わるのか？

上記で見たように、利下げが実施された通貨に対しても円は弱く、最弱通貨に位置している。円が最弱通貨の地位を返上するためには、通貨ペアとしてシェアの大きいドルが弱くなる必要があろう。その為には、日米金利差の縮小が必要で、米景気の一段の減速・利下げが明確に見えてくるのがそのトリガーになると考える。

ただ現状は、米国の高インフレ・堅調な経済を背景に利下げが後ズレしている状況である為（右図参照）、円が売られやすい地合いが続くことからドル/円も底堅く推移するものと予想される。

【市場が織込む米国利下げ】

昨年末時点の3月利下げ開始との観測は、現状11月に後ズレ
 （縦軸:政策金利予想 横軸:時間軸）



出所:各種報道、Bloomberg

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項

本資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることがあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。